

## 7. 着色管理、新梢管理等

### (1) 着色管理

#### 葉つみ

- ① 葉摘みは大玉のものから行いますが、果頂部が軽く着色し始めたころを目安に始めます。
- ② 葉つみは、着色ムラをなくすため果実に密着している葉を摘みます。摘葉は、1果当たり5枚程度が限度です。
- ③ 摘み過ぎないように注意しましょう。摘み過ぎは、着色・糖度に悪影響が出やすいです。また肌荒れ・日焼け・軟化等、品質低下になる場合もあります。
- ④ 高温が続いている場合は、こうあ部（ホゾ付近）の、日焼け防止のため摘みすぎに注意しましょう。

#### 反射シート

太陽光線を反射させ下枝の果実の着色をするため、収穫の一週間前後から反射マルチを樹木の周りに敷きます。果実全体の8割程度が着色したら、マルチを除去し、過熟果の発生や過度の着色を防ぎましょう。

- ① 収穫予定日10～14日前程度から使用します。
- ② 着色先行となる品種は、早採りになりやすいので、熟度をよくみて判断し、収穫します。
- ③ 反射シートは白いシートを使用（タイベックなど）します。シルバーマルチは園内の温度が高くなり果実に悪影響が出る場合もあります。

### (3) 収穫前管理

- ① 徒長枝切りを実施し日当たりを良くし光合成量を高めましょう。
- ② 草生栽培により余分な水分を吸わせ、糖度の向上を図りましょう。  
収穫前の降雨は糖度を低下させるので、余分な水は草に吸わせませす。
- ③ 薬剤散布は、定期的な散布と収穫前の散布を徹底し、腐敗果の混入を防ぎましょう。  
特にメイブランドは無袋栽培のため、腐敗しやすいので注意しましょう。灰星病に弱い品種ですので腐敗果の除去を行いましょう。
- ④ 葉面散布肥料を有効に活用しましょう。特に曇天降雨が続いている場合は、積極的に活用すると効果的です。
- ⑤ 支柱立て、誘引を行い樹内部に日の光が入るようにしまししょう。

### (4) ももの栽培日誌の提出について

### ①栽培日誌の提出

提出要領に基づき栽培日誌を作成し、選果所などに提出しましょう。

### ②留意事項

- ・ J Aより部会を通じて提出用の栽培日誌を配布いたしますので、記入不備の無  
いよう記入して下さい。
- ・ 栽培日誌は通しナンバーが入っていますので、他人の用紙をコピーして使用す  
ることはできません。
- ・ 日誌をチェックし法的に問題がある場合は、荷受けはできません。
- ・ 日誌のチェックを受けるまで、荷受・選果・販売はできません。
- ・ もも情報でお知らせした時期より桃の出荷が早まる場合は、各自で出荷前に提  
出して下さい。